

令和元年度 革新的自殺研究推進プログラム 委託研究課題の採択について

自殺総合対策推進センター
センター長 本橋 豊

自殺総合対策推進センター(JSSC)は、「令和元年度革新的自殺研究推進プログラム 委託研究課題」について公募を実施し、ガバニングボードにおいて厳正な審査を行った結果、下記の通り決定いたしましたので、お知らせいたします。

【領域 1】自殺対策に関するエビデンスの確立

課題番号・研究課題名		研究代表者・所属・役職	
1-1	社会経済環境と自殺	上田路子	早稲田大学 政治経済学術院 准教授
1-2	がん患者の専門的・精神心理的なケアと支援方法に関する研究	内富庸介	国立研究開発法人国立がん研究センター 中央病院 支持療法開発部門長
1-3	国際的視野から見た労働条件・働き方と自殺問題に関する研究	松田晋哉	産業医科大学 医学部公衆衛生学教室 教授
1-3	国際的視野から見た勤務問題と自殺対策に関する研究	ギルモー・スチュアート	聖路加国際大学 公衆衛生大学院 教授
1-4	社会全体の自殺リスクを低下させるためのエビデンスに関する社会疫学的研究	近藤克則	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究部長

【領域 2】地方自治体の支援ツールの改善

課題番号・研究課題名		研究代表者・所属・役職	
2-1	自殺予防に対して医療、保健、福祉、心理等の専門家を目指す学生が有すべき知識と技術向上のための教材の開発と実装に関する研究	堤 明純	北里大学 医学部 教授
2-2	公的マイクロデータを活用した地域自殺対策支援モデルの開発に関する研究	久保田貴文	多摩大学 経営情報学部 准教授
2-3	勤労者を含む地域の自殺未遂者等支援のための保健医療福祉サービスの充実に関する研究	伊藤弘人	独立行政法人労働者健康安全機構 本部研究ディレクター
2-4	ICT を活用した地域自殺対策の強化に関する研究	伊藤次郎	特定非営利活動法人 OVA 代表理事

【領域 3】 新たな政策領域の開拓

課題番号・研究課題名		研究代表者・所属・役職	
3-1	高齢者ボランティアと協働するソーシャル・キャピタル強化による自殺対策の推進に向けた研究	藤原佳典	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究部長
3-2	自殺対策と連動した死因究明と法医学研究 ～他殺後自殺(無理心中)と子どもの死及び遺族対応に焦点を当てて～	岩瀬博太郎	国立大学法人千葉大学 大学院医学研究院法医学教室 教授
3-3	インターネット・SNS等の仮想空間における若者の援助希求に関する研究	高橋義明	公益財団法人中曽根康弘世界平和研究所 研究本部 主任研究員
3-4	子どもの貧困対策の推進と自殺対策に関する研究	藤原武男	国立大学法人東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学分野 教授

革新的自殺研究推進プログラム 事務局

〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
自殺総合対策推進センター (JSSC)

E-mail: irpsc@ncnp.go.jp

<http://irpsc-jssc.jp/irpsc.php>